

教科の学習とつながる！  
行田を知って好きになる！

# スクールカリキュラム

総合的な学習の時間

チャレンジタイム

1・2年生

生活

まち探検  
博物館に行ってみよう

3年生

わたしたちの中央小  
学校の歴史を知ろう



4年生

足袋蔵のまち「ぎょうだ」  
まちの歴史を知ろう



5年生

人と自然のまち「ぎょうだ」  
人と人・人と自然のつながりを知ろう



6年生

古代の光かがやく「ぎょうだ」  
古代のぎょうだについて知ろう



社会

足袋とくらしの博物館と連携



3年生

理科

水城公園（忍城の外堀の沼を利用  
して整備された公園）の探検  
※第4学年理科の学習内容のつながり



5年生

まちの緑を紹介する  
パネルを作ろう

国語

行田市郷土博物館・県立  
さきたま史跡の博物館と連携



6年生

一瞬でまちの魅力が伝わる  
パンフレットを作ろう

図工

県立近代美術館と連携



6年生

絵画を鑑賞して  
キャプチャーを書こう

# トライ!!!

博物館

## 子供解説ボランティア

行田市立中央小学校

博物館子供解説ボランティアに向けてインプット!

～学芸員さんと行田古墳巡り～

6年生

4月

- ・オリエンテーション
- ・行田市郷土博物館見学
- ・行田古墳巡り

5月

- ・行田市郷土博物館で  
課題解決に挑戦
- ・埼玉古墳群で  
フィールドワーク

6月

- ・ガイドの原稿を書く

7月

- ・なるほど古墳時代  
(さきたま史跡の博物館出前授業)
- ・学芸員さんの前で  
リハーサル
- ・原稿を修正・練習
- ・博物館子供解説  
ボランティア

教科横断的な視点! ～学びの幅を広げ、質を高める～

実社会にアウトプット!! ～博物館子供解説ボランティア～

今年度の「博物館子供解説ボランティア」がやってくる!

【日時】  
7月25日(木)・26日(金)  
午後1時30分～3時30分  
※雨天決行です。  
※さきたま史跡の博物館でも同時開催

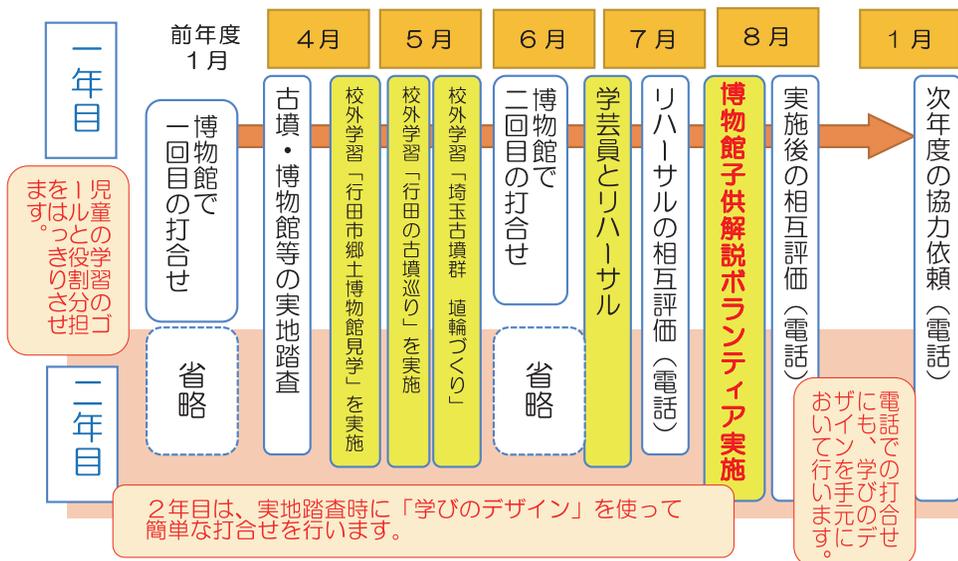
【申込】  
7月16日(水)まで  
※申込先着順です。  
※さきたま史跡の博物館でも同時開催

【申込先】  
行田市郷土博物館  
〒370-0001 行田市郷土博物館  
TEL: 0285-74-22-2913  
FAX: 0285-74-22-2913

【問い合わせ先】  
行田市郷土博物館  
〒370-0001 行田市郷土博物館  
TEL: 0285-74-22-2913  
FAX: 0285-74-22-2913

【申込先】  
行田市郷土博物館  
〒370-0001 行田市郷土博物館  
TEL: 0285-74-22-2913  
FAX: 0285-74-22-2913

## 行田市郷土博物館・さきたま史跡の博物館と授業をつくる 実施スケジュール



## 博学連携の成果

### ① 児童の自信と達成感

子供たちの感想では、「ほめてくれる人がいらっしやだったので自信がついた。」「うなずきながら聞いてくれてうれしかった。」「感情を入れて説明できた。」など大きな達成感を味わうことができました。

### ② 理解の質と表現力の向上

学芸員さんに解説ボランティアについて、熱心に御指導いただきました。その結果、子供たちの知識が豊富になり、理解の質も高まり、表現力が見違えるほど上達しました。

### ③ 文化財への理解と郷土愛

県立さきたま史跡の博物館、行田市郷土博物館、県立近代美術館及び地域の方々と積極的に連携し、インプットしたことを実社会に何度も繰り返しアウトプットすることで、専門的な知識を学び、「ふるさと行田」の歴史や文化を深く理解することができました。また、「ふるさと行田」をさらに愛する心の育成にもつながりました。

# 虎の巻

博学連携を成功させる

○学校と博物館との連携の基盤をつくる

一年目には、教員と博物館職員が、直接会って打合せを行います。育てたい児童像や役割分担について話し合い、信頼関係を築きます。教材についても話題にし、お互いの専門性から意見を出し合うことで、授業の質も高まります。

○教科横断的な視点をもつ

博物館や美術館での学習で得た経験をもとに、児童に深く考えさせたり、質の高い表現活動を行わせるための場には、教科の学習内容との関連を図ったカリキュラムを構成することが効果的です。ここでは、解説ボランティアのパンフレットづくりを、国語の学習内容と関連させました。

○活動に関わるみんなが楽しめる

ゴールの姿（博物館解説ボランティア）を明確にすることで目的意識をもって学習することができ、主体的に学び、学習したことを、実社会に生かすアウトプット型の学びを重視することで、子供たち、博物館、来館者等、みんなが楽しむことができます。

## 役割分担

博物館職員の役割分担を明確に示すことで、指導者の専門性を一層生かした授業が展開できます。

## 基盤づくり

教員と博物館職員が直接会って打合せを行うことで信頼関係が築かれます。

## 行田の魅力 大発見!! 博物館子供解説ボランティアに挑戦しよう



## 教科横断的な視点

国語の学習をとおして、伝えたいことを効果的に伝えるパンフレットづくりを行いました。児童どうしの検討を重ね、楽しくわかりやすいパンフレットができました。

## 活動に関わる皆が楽しい

子供たちも博物館も来館者もみんなが楽しめる関係になります。子供たちは来館者に解説して楽しく、来館者も子供たちの解説を聞いて和やかな雰囲気になります。

# 学校と博物館・美術館をつなぐ 学びのデザイン

③②①行教博学田科物習市横館過立断職程中 的員に央 なの即小 視役し学 点割た校 がが体 の 組明験デ 示活ザ 込さ動イ まれをの れて配の 置持し長 る。